

教科名	家庭	科目名	服飾手芸（2年次）【3単位】	
授業形態	実習（編物や刺しゅうなど作品の制作）＋ 講義			
選んでほしい生徒	手芸に興味があり、根気強く実習を続けることができる人			
科目の目標	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し服飾に活用する能力と態度を育てる。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 手芸の歴史や種類を知る。</li> <li>2 編物、刺しゅう、染色、パッチワークの基礎的な技術を身に付ける。</li> <li>3 技術を活用して、作品を製作することができるようになる。</li> </ol>			
学習計画	単元・教材		学習のあらし	
	<b>【1学期】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 手芸の種類と変遷について</li> <li>2 刺しゅうの基礎</li> <li>3 パッチワークの基礎</li> </ol> <b>【2学期】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 染色の基礎</li> <li>2 かぎ針編みの基礎</li> </ol> <b>【3学期】</b> かぎ針編みの応用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の手芸について、その種類や歴史について学習する。</li> <li>・刺しゅうの基礎的なステッチを身に付ける。</li> <li>・パッチワークの基礎を身につける。</li> <li>・簡単に染められる染料を使った染色実習をする。</li> <li>・かぎ針編みの基礎を身に付け、自由作品を製作する。</li> </ul>	
評価の観点・評価の方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	・製作計画を立て目的に応じた作品づくりに意欲的に取り組んでいる。	・各種手芸の技法を活用して、創造力を働かせて手芸作品を製作し、実際に生かすことができる実践的な態度が身に付いている	・刺しゅう、パッチワーク、染色、編物の技法などに関する技術を習得している。	・刺しゅう、パッチワーク、染色、編物の技法などに関する知識を習得している。
上記の観点を踏まえ、実習作品、定期考査、授業態度等を総合的に判断して評価する。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本を身に付けることがよい作品づくりにつながります。そのためには、繰り返し練習することが大切です。</li> <li>2 日頃から、様々のことに興味を持ち、作品製作に活用できる力を養っておきましょう。</li> <li>3 ていねいに作品を作るよう心がけましょう</li> <li>4 安全に十分留意しましょう。</li> </ol>			
教材費	教科書 約 1,300円 教材費 約4,000円			
その他	特になし			